

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフで意見を出し合って決めた事業所理念を掲げている。スタッフルーム内の見えやすいところに掲示し、カンファレンス時など振り返り、実践できるようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフは数日おきに近所の魚屋やスーパーに買い物へ行き、日常的な関わりを持っており、顔なじみの関係となっている。入居者とスタッフ共同の地域清掃の実施や、運営推進会議、各月の新聞の発行などで、ホームの様子を伝え、地域との関係が途切れないようにしている。運営推進会議のテーマを認知症にしたり地域で、認知症サポーター養成講座を実施している。	地域によるとは思うが、集団住宅が多い中、施設も地域との関わりが多く持っている。コロナ禍で、一緒に何かをするのはとても難しい状況ではあるが、模索しつつ一緒に出来る事はないか地域の方々と共に検討していく。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍は会議の書面開催が続いているが、事業所の運営状況の報告を行い、活動について頂いたご意見を参考にしたり、スタッフに周知し活動の維持・モチベーションの向上につながるよう活かしている。	内容について、書面からよくわかる。コロナ禍であってもつながりを絶やさない為の工夫として、新聞や運営推進会議の資料を送付してもらっている為、このような状況下でもどのように生活されているかがわかりやすく、職員の皆様の日々の努力が感じられる。話し合いの結果実現出来た地域とのオンライン交流もあった。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議での関わり、地域の介護者の集いでの関わりなどを持っている。認知症サポーター養成講座の依頼を受け、地域で年に数回の講座を行っている。	入退居や事故件数、日頃の様子等、写真付きの新聞や会議録などで、運営の見える化に努めている。結果社協と協働で地域とのオンライン講座のコラボレーションも実現出来た。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内は身体拘束を禁止しており、行っていない。身体拘束研修全員が参加し、スピーチロックしない事を毎月のチーム会議で声掛けし意識付けをしている。「ちょっと待ってください。」「しないでください。」「は可能な限り避ける表現としてチームは意識出来ている。センサーマットの必要性は毎月カンファレンスでの再検討を継続している。	「～ください」という表現を避け「しましょう」という同じ意味の言葉かけが良い。自由に行動出来ていて本人が生活に満足していると話しており、家族として安心している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待についての研修に参加している。認知症状により、スタッフにとって精神的ストレスとなりやすい入居者について、どうい時にストレスや困難さを感じるか、イライラしてしまうか話し合う機会を持ち、万一の虐待につながらないようチームで気持ちを共有、共感し、発散ようにしている。	スタッフ全ての方が優しく親切であると話し心配なく託せる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍前はいきいきセンターの職員様に制度の説明をして頂いていたが、現在は行えていない。必要性を感じる方は、いまのところいない。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	説明の区切り毎、項目ごとに、質問の有無を尋ね、疑問点がないか確認している。料金の変更などは文書にてお知らせをしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隔月の生活についての手紙や、様子について電話でお伝えすると共に、ご要望がないかお尋ねするようにしている。頂いたご意見は必要に応じて施設長、委員会へ伝えている。コロナ禍でない時は、家族会で施設長含む職員と家族が集まり、意見を言い合える機会を設けている。	意見要望をお願いする事無く聞いて頂いている。定期的に報告書を送付して頂き電話でも意見を伝える事が出来る体制が整っている。スタッフの方々に書いた感謝の手紙を上司の方にまで報告頂けて嬉しかった。グループホーム新聞により直接訪問が難しい間もホームでの取り組みや現状の把握が出来る為意見を伝えやすい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の提案や企画について、代表者は積極的に耳を傾け協力をしている。また年に2回の個人面談を行い、現場スタッフの意見を聞く場を設けている。毎月のチーム会議では、全員が発言できるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課・昇給制度あり。人事考課に合わせて個人面談を行うことで、職員の日頃の頑張りや、今後の課題を一緒に確認し、やりがいを持って仕事ができるように働きかけている。年1回のストレスチェックの実施もある。	施設内のことはわからないが、スタッフの方々への前向きさは伝わる。スタッフの方々は皆さん明るくいぎいきと働かれているように感じる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入職時には各分野における研修に加え、入職後1か月間の1対1での業務指導の実施。全スタッフは内部研修に全て参加し、外部研修は各スタッフ年間1～4回、業務時間内で参加できている。費用は施設負担。外部研修の内容は、チーム会議で他スタッフに報告してもらっている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	福岡県グループホーム協議会の運営相談会、福岡市認知症キャラバンメイト交流会などに参加し、コロナ禍ではオンラインでネットワークづくりの機会を持っている。グループワークにおいて、各事業所のやり方について情報交換したり、意見交換する機会を持っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家事活動(調理、洗濯、掃除等)については、日常的に職員と入居者と共同で行っている。手伝ってもらうことが多くあり、スタッフは助かっている。今年度は、らっきょう漬けや梅ジュース作りを行い、入居者側からやり方を教えてもらう機会を設けた。	今は写真のみで様子がよくわからないが、楽しさは理解できる。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で制限が多い中ではあるが、家族へ手紙を書いたり、写真を送る、電話するなど別の方法で交流出来るようにした。前施設や、自宅付近の散歩へ出かけ、馴染みの方々に声を掛けられることもあった。	贈り物や手紙を送ると写真付きで本人が返信したり、御礼の電話をかけたりにできている。コロナ禍でなければもっと面会出来たり行事に参加出来るが、今は電話とオンラインで納得。御家族はコロナが終息したら、旅行や美味しいものを食べに連れていきたいと願っている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

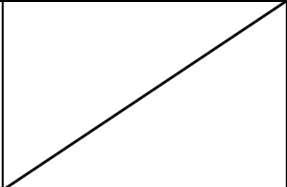
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>日常的な選択については、こまめにご本人に確認を行い、例えば寝て過ごす、起きて過ごす等、二択にして尋ねることで決定し易いようにしている。本人・ご家族を巻き込んで、らしきシート・センター方式を活用することで、長年馴染んだ暮らしなど、生活背景に沿って支援できるように努めている。</p>		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>細やかな生活変化にも対応していけるよう、計画書の期間は短めに設定している。家族・本人への意向確認、毎月のケアプラン実施状況の評価、カンファレンスで状態についての確認を行っている。看護、歯科、リハビリ職などの助言を取り入れながらプラン立案。可能な場合は本人に計画書を見せて、意向の確認を行っている。</p>	<p>本人はよくわかっていないと思うが、意見は聞いて頂きホームと家族・本人は確認できている。定期的な報告書や細やかな生活の変化に気付いて対応できている。いつも十分に相談でき、計画書にも反映している。</p>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>電子カルテに細やかに生活の様子を記録している。介護計画の実践については、その項目で記録していくことで、見直しがしやすいようになっている。毎日〇×でケアプランの実施状況をチェックする。職員の主観が入る気付きや工夫は、連絡・相談ノートに記載したり、チーム会議で問題提起するようにしている。</p>	<p>本人担当者だけでなく全員が良く理解・把握されていると思う。良く記録されていて感心。定期的な報告書によりスタッフ間で十分に連携出来ていると思う。細かい報告をして頂ける。</p>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>施設での集団生活である為、時間の縛りなどが起きやすいが、希望により食事時間をずらしたり、好きな時に臥床出来たり、お粥を作ったり食べたい物を出すなど、自宅で過ごすような普通のニーズには応じる事が出来ている。</p>	<p>コロナ禍でも職員の皆さんが入居者の皆さんへ誠心誠意でひとりひとりにあった援助をしている。</p>	
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>公民館だよりや、地域の年間行事をホーム内に掲示しているが、コロナ禍でふれあいサロンや地域カフェには参加できていない。カラオケ、傾聴、生花、園児交流、各種ボランティアはコロナ禍で受け入れが行えていない。地域への日常的な買い物にも出掛ける事が出来ていない。</p>	<p>地域の活動を少しずつ再開されている。ボランティアでの来設が待ち遠しい。ふれあいサロン等もオンラインでつなぐチャレンジをしてみようか。箕子地区に住民票を移されている方もいると思うのでコロナが落ち着いたら参加出来たら良いと思う。</p>	<p>オンラインを活用し、ふれあいサロンやカフェ、地域行事などの社会資源とつなぐことで、コロナ禍でも生活がより豊かに、また楽しめるようにする。</p>
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>現在、入居者全員が同系列病院がかかりつけ医となっている。定期健診や処方等、スムーズな体制が整っている。系列病院(訪問看護)に24時間相談出来るようになっている。</p>		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入院中にはADLや関わりのポイントなどを伝え、定期的に地域連携室に連絡している。家族には面会后、ホームへ様子を教えてもらうように依頼している。</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入居時に、終末期についての意向確認を行っている。重度化していく中でカンファレンスを行い、同施設の看護師や、訪問看護師に相談ながら支援している。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時の対応はマニュアル化している。心肺蘇生法やAEDの使い方は内外研修で技術習得するようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設の火災訓練と、ホーム内の消防避難訓練は入居者9名と一緒に年二回実施している。コロナ禍以外は運営推進会議に位置付け御家族、地域の方と一緒に訓練を行なっている。	コロナ禍前のようにまた地域や御家族との避難訓練を再開出来るが良い。黄子地区でも災害時の見守り体制の強化として防災委員・町内会長・民生委員と顔合わせをする予定があるが、災害時の認知症の方への声掛け方法等一緒に学ぶ機会を持てると良いと思う。施設内で垂直避難が良いのか検討。72時間分の備蓄が必要であるが実施できている。避難訓練に参加した際、現実的ではない部分もあった。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害時の、認知症の方への声掛け方法など、職員や地域の方へ伝える機会を持つ。また毎年2回ずつ行っている訓練が毎回同じような内容となっている為、より現実的な訓練内容を再企画し、いざという時に備える。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常的に敬語を使用し、スタッフの入れ代わりなどで乱れてきたときは月間目標に掲げるなどして修正していく。トイレや居室など訪室時はノックの徹底をしている。	堅苦しくならないようあまり敬語にとらわれる必要はないと思う。十分にプライバシー確保が出来ている。デリケートな部分、心のケアもしてもらいより感謝。入居者への言動はとても丁寧で人権を尊重しているのが感じられ好感が持てる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご意向がある場合は、否定せずに可能な限り応ずる。寝る起きる、トイレの有無やお茶の内容など小さなことでも、選択、自己決定できるように声掛けする。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	献立立案には適宜入居者の希望を取り入れる。食事の準備は入居者が役割分担して行うことが日常化している。エプロンをつけて台所に立ったり、包丁仕事も日常的に行う。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	摂取量が偏る方には表を用いて詳細に記録したり、カロリーゼリーを提供したりする。嗜好に合わせて希望のものを食べれるようにスタッフが準備する事もある。主食もパン食や軟飯、小盛など個別に対応する。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	1日3回の口腔ケアの声掛け、実施。歯間ブラシの使用など個別に対応。口腔衛生管理体制加算を取っており、歯科医の指導を受けて日頃のケアに活かしている。口臭が強い方はいない。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	8割が布パンツを使用。皮膚への負担を軽減するよう長時間のパッドの使用ではなく、食前食後など、こまめにトイレ案内し、トイレでの排泄を促している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	13～16時という時間枠ではあるが、その時の様子に合わせて順番を前後したり、翌日にしたりとご意向にあわせている。必要に応じて午前中に対応する事もある。ゆず湯、菖蒲湯の実施あり。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ソファで居眠りを始めたらご意向を確認して居室へ案内している。必要に応じてラウンジでのリクライニングチェアの活用。昼夜共に室温、湿度、寝具調整の実施。馴染んだ毛布や枕の持ち込みあり。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の変更がある時には、カルテの他に連絡ノートで周知し、様子観察する。変化がある時は特記事項として記録し、医療に相談する。スタッフの理解不足で点眼薬を間違えるということがあった。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	役割についてはそれぞれの傾向を掴んで働きかけている。コロナ禍で外出の頻度、人との交流が随分と減り、楽しみはホーム内ばかりとなっており、その人らしい当たり前の日常、の支援には今一歩不十分さがある。嗜好品は買物代行支援、家族の持ち込みなどで維持出来ている。	家事を分担できている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	散歩については、屋上または施設周辺で行えている。桜、藤、芍薬などの季節に外出したり、自宅エリアに出向いたり、行きつけた神社にいたりした。コロナ禍で、周囲の方々との交流は限られわずかにしか実施出来なかった。	(コロナ禍は特に)屋上にでるだけで十分。自宅の近くや長年通った神社などに足を運べると良い。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	半数の方が財布を所有しているが、コロナ禍で外出の頻度が減り、以前のようにお金を使う機会がなかった。短時間の買物から可能としていたり、スタッフがケーキ屋に出向いてオンラインで選んでもらうような買物支援を企画したい。	お買い物だけでなく出来る範囲でオンラインが使えるよう家族も努力が必要。オンラインで品物を選ぶ支援は面白い試みであり、感想等聞きたい。コロナが落ち着いたら買物家事を一緒にできると良い。		オンラインでの買い物を企画する。新型コロナウイルスが落ち着いたら、入居者それぞれの希望に沿って、一緒に買物へ出掛ける。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で手紙を書く支援は以前よりも増えた。自由な面会が出来ない為、電話をかけた、写真を送って関わりがとぎれないようにした。働きかけても、手紙はあまり書きたがらない方が多い。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	壁面には毎月、季節に応じた飾りを施す。表札をつけ、のれんは各居室で異なるものを使用。家具の配置は必要に応じて変更、掃除も1日2回実施。ラウンジや食卓の共用部分はゆとりのある広い空間。	共用スペースが十分で室内も落ち着ける空間。早く施設内へ出入り自由になることを希望している。季節を感じられる装飾がいつも工夫されている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない				
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴は認知症のご本人から得られる情報は少なく、御家族も意外と知らない場合も多い。入居の中でコミュニケーションを大切に、可能な限り聞き出すことでケアの中に反映させるようにしている。	家族であっても知らないことが多く、スタッフの方から教えてもらう事も多くある。コミュニケーションを通して情報の収集が出来ている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	健康面については細やかな事柄も電子カルテを通じて周知し、看護へ報告をしている。些細な事でもヒヤリハット報告書を活用する事で事故防止に努めている。	スタッフの方々からの連絡が行き届いている。本人の健康状態もよくきめ細やかな対応がされており安心。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	時間管理で無理強いしたり、拒否される事を強要することはない。昼間の過ごし方や食事量など、個別に対応できている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	タンスやソファ、テレビを始め、布団、仏壇、携帯電話など持ち込みしている。入居時には、馴染みの物を持参頂くようお願いをしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍でない時は、自宅、コンビニ、パン屋、デパート、前職場、保育園、地域の集まり(ふれあいサロン、運動会、夏祭り、餅つき、どんど焼き他)や、居酒屋、外食などでできていたが、コロナ禍では時短、中止も多く行えていない。	地域にもよるが、サロンなども限定数で再開されてきている。、参加されることを楽しみにしている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	過介助にならないようにスタッフはアセスメントし話し合う。ひとつの動作を細分化させ、できるところだけ手伝うようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	どの入居者も楽しく話し、大笑いする場面が頻繁にある。それぞれが好む話題などをスタッフは把握出来ている。	この2年間はよくわからないが、入居者同士が仲良く、少しの認知症があっても相手を理解しているようす。いつも楽しくやっていると電話で聞くと安心する。レクリエーションを通じて会話が楽しく繰り広げられている場面を多々見受け。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/>あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>地域の保育園児との作品交換での交流やボランティアさんからの歌詞カードの提供、スタッフの公民館でのお土産話や、行きつけのスーパーでの話題の伝達など。オンラインでの地域のシニアさんたちとの交流など。</p>	<p>家で動画でテレビを観ているのと同じように様子を見る事が出来る良い。先日のシニア地域ボランティア講座のような機会(オンライン傾聴ボランティア)が出来ると良い。</p>		
49	総合	<p>本人は、このGHIにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/>ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍以降の入居が多く入居者自身の地域交流においては不十分。スタッフとは親しみ、近い距離での関係の維持、支援が行えている。お互いに笑顔が多く過ごせている。</p>	<p>写真などをみるとスタッフとの親しみの中から笑顔が多い。コロナ禍なので地域交流はなかなか出来ないが、スタッフの方々は十分に良い関係が出来ていて、支援できている。早く色々な交流が復活して欲しい。コロナの影響もあり交流は制限されたが、厳しい状況の中でも色々な工夫努力ができている。それぞれに事情が違い対応も大変な中入居者の皆さんの笑顔は素敵。</p>	<p>A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/>ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	